

dialogue

Taiwa town assembly official report

Volume

163

12月定例会
平成22年2月1日

たいわ町議会だより



大人として頑張っていきます

交通ターミナルここでいいのか

2～3ページ

請願書 飼料高騰で畜産農家が危機的状況

4ページ

肺炎球菌ワクチンに助成をほか 一般質問者 11名

6～16ページ

研修レポート(議会運営委員会、社会文教、産業建設常任委員会) 17～19ページ

12月定例会

(会期 12月8日～11日)

内容

条例の改正や補正予算、請願書などを慎重に審議しました。
一般質問は11人の議員が、町の対応や考えを問いました。

一般会計補正予算で行われた

質疑は次のとおりです



交通ターミナル ここでいいの

議員 大和インター土地区画も空いているのに、なぜ吉岡南第二地内にするのか。
都市建設課長 今までは、町の中の公共交通が分散した形で運行されていた。今回、新庁舎の隣に交通ターミナルを設置して利便性を図り、まちづくりの起点にしたい。
議員 利便性があるが、

交通安全対策は大丈夫か。
都市建設課長 新庁舎、黒川病院等が隣にあるが、適地とした。
議員 大和インターは、検討課題に入っていたのか。

町長 サテライト大和の駐車場を利用し、高速道路という考え方もあったが、難しい状況になった。総合的に判断し、この場所に決定した。
議員 ターミナル整備事業の最も大切な考え方は、町長 1か所に来て、そこに人が集まり、四方八方の目的地に行けることだ。商店街に入るルートを作れば、地域の活性化も図られる。また、工業団地等に勤める方々が、まとまって職場に行くことで、交通渋滞の解消や二酸化炭素の削減につながる。



役場内の備品

役場の不要な備品は 地区にください

議員 不要で新庁舎へ持つていけない備品を、地区で欲しいという意見もあるが。
総務まちづくり課長 今使っている備品はできるだけ新庁舎に持っていく。不要な備品は、意見も踏まえ検討する。

公用車の冬タイヤが 盗まれた!?

議員 車庫に置いていたタイヤが盗まれたようだ



公用車がはみ出し、シャッターが閉められない

が、カギはかけていなかったのか。
総務まちづくり課長 盗難に遭った車庫は、公用車が見出るためシャッターが閉められない。
議員 町が中心になり防犯パトロール等を行っているのに、盗難とは恥ずかしいことでは。
総務まちづくり課長 今回は不注意だった。対応として、センサーライトを設置し、管理を徹底していく。
【審議結果】 可決 (賛成17 反対0)

新庁舎北側に交通ターミナル

黒川病院

交通ターミナル予定地



給食費の未納者を町が訴える

訴えの内容

相手方は学校給食費を滞納しており、再三にわり支払うよう請求したが応じず、町は仙台簡易裁判所に支払い督促申立書を提出した。

結果 月々の分割で支払うことで和解をした。

〔審議結果〕可決

(賛成17 反対0)

延滞金利率が上がります

(介護保険条例改正)

議員 延滞金の利率がずっと7・3%だったのに、今回の改正で4か月目から14・6%になる。何か法的な指導があったのか。保健福祉課長 厚生年金保険法等の一部改正で、それにならない延滞金の利率改定、期間延長ということだ。

反対討論

●藤巻博史議員

議員 現行の延滞金の利率は、ずっと7・3%だったが、改正により4か月目からは14・6%になる。この利率は、町の裁

量に任されているので、引き続き軽減策を要望する。

	改正前	改正後	
町	7.3%	3か月間だけ 7.3%	4か月目から 14.6%
国	14.6%	7.3%	14.6%

〔審議結果〕可決

(賛成16 反対1)

先生専用のパソコン

(小中学校校務用パソコン売買契約)

納入物品

校務用パソコン(123台)及び校内LAN整備

契約者

リコー東北仙台支店

(仙台市)

契約額

3307万5000円

〔審議結果〕可決

(賛成17 反対0)



教育環境整備で学力向上

(小中学校地上デジタルテレビ売買契約)

納入物品

地上デジタル対応プラスマテレビ50型 62台

契約者

株式会社大塚商会仙台支店

(仙台市)

契約額

1136万9715円

議員

議員 経済が厳しい中、町内の業者は大変な状態だ。地元の業者を考えた入札をしては。

副町長 庁内の物品関係の購入は町内の業者を利用しているが、入札になれば条件等があり、広く入札をしなければならぬ。

議員 競争性は分かるが、できるだけ地元業者を使うような仕組みにしたい。

町長 我々としても、悩ましいが、説明責任を考

え行っている。

〔審議結果〕可決

(賛成17 反対0)

ガス管の道路占用料いただきます

(道路占用料条例改正)

議員 ガス管理設工の復旧で、掘った所の道路が悪い状態だ。

都市建設課長 現在、仮復旧中だ。順次、本復旧工事として道路片側の舗装を行う。

議員 工業団地までの占用料の額はいくらか。

都市建設課長 200ミリの配管が主で額は137万円だ。

〔審議結果〕可決

(賛成17 反対0)



エサ代高く、もう限界

請願書

〔請願名〕 畜産経営の飼料高騰及び

不況による経営危機に対する助成を

〔提出者〕

肥育牛生産農家 代表 門間政好氏
肥育牛生産農家 代表 根元仁一氏
繁殖牛生産農家 代表 浅井 功氏
酪農生産農家 代表 佐藤文徳氏

〔紹介議員〕

大崎勝治議員、桜井辰太郎議員
浅野正之議員、中山和広議員

※請願書を提出する場合は、1人以上の紹介議員が必要で

〔請願の主旨〕

現在の肥育牛・繁殖牛経営は、飼料価格の高騰と長引く不況、畜主の老齢化も重なり危機的状況にあります。平成21年の相場は回復すると期待を抱き、今日まで我慢をしましたが、生産農家の努力だけではもう限界の状態です。

今後の本町の畜産振興の観点から、苦境に陥っている畜産農家に対し、飼料高騰対策の支援をお願いします。

〔助成内容〕

畜産農家の肥育牛、繁殖牛、乳牛、子牛の飼養頭数に応じての助成



いっぱい食えよ

産業建設常任委員会での審査経過

審査経過

9月18日

9月議会にて産業建設常任委員会に付託

9月29日

役場産業振興課より現状説明を受ける

11月10日

JAあさひな営農センターで、管内の畜産状況を調査

先進地視察（大郷町役場で支援事業の説明を受ける）

11月25日、27日

委員会で協議

12月11日

議会で委員長が調査結果を報告

審査結果

飼料価格は、一昨年来上昇を続け今年になって落ち着いてきたが、まだ高値状態にある。一方、牛肉の市場価格は不況による消費低迷で下がり、加えて、肥育牛の場合は生産販売まで数年かかり、高コストの牛を抱え苦しい状況にある。

国等では支援対策が図られているが、まだ十分ではなく、畜産農家は経営努力の限界にきている。畜産業が地域農業の振興に果たす役割は重要で、畜産農家を支援することにより、今後も地域農業と連携しながら経営を持続させることが出来ると判断し、採択とする。

〔議会での審議結果〕 採択（賛成17 反対0）

臨時議会

10月30日と11月27日に臨時議会があり、次のことが決まりました。

待機児童が減ります

もみじヶ丘保育所増築請負契約

【審議結果】可決（賛成17 反対0）

契約者：(株)阿部和工務店（仙台市）

契約額：4515万円

完成：平成22年3月



5408万円増額

一般会計補正予算

【審議結果】可決（賛成17 反対0）

台風の被害か所の復旧工事と新型インフルエンザワクチン助成のため、予算を増額しました。



公用車の事故

損害賠償の額を定め、和解

【審議結果】可決（賛成17 反対0）

役場駐車場で、職員が公用車を車庫に入れようとした際、停車中だった車と衝突し、双方の車が破損しました。過失の割合は、町が100で相手方は0です。

給料・ボーナス引き下げ

町職員等の給与条例改正

【審議結果】可決（賛成16 反対1）

人事院の勧告に基づき、国の職員の給与改正が行われることで、町職員の給与条例を改正し給与等を引き下げます。町長、副町長、教育長も同様に減額となります。

反対 藤巻博史 議員

養育費・教育費・ローンなどで家計は大変である。さらに、民間の給与体系にも影響を与える。官と民の賃下げ競争の悪循環になることから、反対する。



宮床高山地内

10月7日～8日の台風による大雨で、町内でも地すべりなどの災害が発生した。現場の状況を視察・調査をした。

農業用地関係の災害は33か所、町道等関係の災害は17か所で、今後、国からの補助等を受け復旧します。

大友勝衛委員長
浅野正之副委員長
大崎勝治委員、馬場久雄委員
堀籠英雄委員、藤巻博史委員

産業建設常任委員会

委員会活動報告

町道、河川等の災害				農業用地の災害			
・ 落合地区	・ 鶴巣地区	・ 吉田地区	・ 吉岡地区	・ 鶴巣地区	・ 吉田地区	・ 宮床地区	・ 吉岡地区
1か所	2か所	13か所	1か所	2か所	28か所	2か所	1か所



吉田日水地内



堀籠 日出子 議員

肺炎球菌ワクチンに助成を

町長 新年度予算で検討

議員 高齢者はインフルエンザにかかると肺炎を併発しやすく死亡率が高い。そのため、免疫力の低下する高齢者へ肺炎球菌ワクチンの接種が望ましいとされている。助成をしている自治体では、入院患者の減少で医療費削減になっている。取り組む考えは。

町長 高齢者へのワクチン接種は、肺炎併発による重症化の予防対策上、重要と考える。

議員 ワクチン接種に助成をし、重症化の抑制と医療費の削減を図っては。

町長 ワクチン接種は、発病予防と重症化防止に効果があり、接種奨励策として新年度予算で検討する。

一般質問

病後児保育、やる気はあるの

町長 方策を調査する

議員 病後児保育は、育児と就労の両立を図る必要な事業である。安心して働ける環境整備が必要ではないか。

町長 既存の保育所では、専用スペース・保育士の確保、委託可能な病院確保が厳しい状況にある。今後、調査する。



放課後みんな楽しく (吉田児童館)

役場跡地を

幼児教育施設に

町長 「賑わいゾーン」 「教育ゾーン」として

議員 吉岡児童館は面積が狭く、児童クラブの受入れに制限があり、利用できない児童生徒の保護者からは、放課後の心配をする声がある。庁舎跡地は、幼児教育施設として環境のよい場所と考えるが、利用計画は。

町長 小中学校・保育所があり、教育環境には良い場所と認識している。また、イベント会場拠点としての位置付けもあり、「にぎわいゾーン・教育ゾーン」等の複合的な利用の検討が必要だ。

議員 23年4月から、民間保育所が運営されるが、病後児保育の検討はするのか。

町長 病後児保育事業の計画・検討はしていない。

高卒者の就職対策は

町長 企業へお願いする

議員 景気が回復せず、先が見通せない状況から、企業の求人が大幅に減少している。

10月末現在、県内の高校生のが就職内定率は41・8%で、昨年同月に比べ14・6%減少している。黒川高校でも11月末で54・8%と極めて深刻な状況となっている。

内定を得られない生徒に対し、町として何らかの支援をしなければならぬのでは。

町長 来春の地元高校卒業予定の就職希望者が、多く

の企業に採用をいただくよう、8月中旬に企業を訪問した。しかし、依然として先行き不透明な経済情勢の中で、雇用抑制の傾向にある。地元高卒予定者の就職が一人でもかなえられるよう、黒川高校、ハローワーク大和と情報交換を密にしている。今後、各企業へ雇用をお願いをしながら、さらなる採用内定の支援に努める。

升沢・三畑に自衛隊を誘致せよ

町長 国の施策大きく影響、慎重に検討



いざという時に、頼りになる自衛隊

吉岡児童館の新設を

町長 教育環境の良さを活かす

議員 吉岡小学校と近接している役場庁舎移転後の跡地利用として、自由来館型児童館を設置しては。

町長 児童館に求められることは、児童クラブ待機児童の解消、利用しやすい環境整備など、子どもや保護者のニーズに沿った運営である。役場跡地は、にぎわいの拠点としての位置付けのほか、教育環境の良さを活かして総合計画に反映したい。



中山和広 議員

議員 砲撃騒音対策で集団移転した、升沢・三畑地区跡地に、自衛隊の部隊を誘致して、町づくりの促進を図ってはどうか。

自衛隊の誘致は、本町の町づくりには大きな力になると思われるので、ぜひ働きかけては。

町長 大和駐屯地には第6戦車大隊があり、本町に定住された方も多く、OBの方には町の各種組織等の役員等を引き受けられ、町づくりに大きく貢献をいただいている。集団移転跡地の升沢・三畑地区は防衛省の管理となり、演習場の緩衝

地となっている。

自衛隊の駐屯は、災害支援や定住化の面から大きく寄与いただけるものと考えますが、防衛のあり方は国の施策になるので、慎重に検討したい。



議員 志高 渡平

子育て支援住宅を作っては

町長 住環境・子育て整備に取り組む

議員 少子高齢化社会が進むとともに、多くの若者が町外に流出している。町の活性化には、地域で暮らす若者の力が大変大きいと感じる。

若者の定住を進めるには、次代を担う子育て世帯が安心して生み育てることができ、子どもが健やかに成長できる環境づくりを進めることが必要だと考えるが、町長 鶴巢、落合、吉田、宮床地区の過疎化、少子化高齢化対策を考える時、地域に住む子どもたちが地域で成長し、そのまま住み続けられる環境づくりが大切と考える。

議員 小学校入学前の子どもがいる家庭を対象に、「子育て支援住宅」を少子化が進む鶴巢、落合、吉田、宮床地区に作ってはどうか。

町長 若者が町内で働ける場を作ることが大事と思う。本町に多くの若者が定住するため、住環境の整備と子育て支援整備に取り組んでいく。

なぜ、自主防災組織が進まないの

町長 関係団体に協力依頼し促進を図る

議員 平成17年度から自主防災組織の立上げ結成を進めてきているが、4年間で21地区の立上げ状態である。他町村でも自主防災には相当力を入れている。なぜ、本町は迅速に進まないのか。

町長 一人暮らしなど地域の要援護者等の状況も変化しており、大災害が発生したときの被害の拡大を防ぐには、町や消防署の対応だけでは限界がある。近所や地域の人々が互いに協力し

合う共助により地域の防災力を高めることは必要不可欠である。区長、消防団、防火クラブ等関係団体に協力を依頼して促進をしていく。



常日頃の訓練が大事（鶴巢地区）

町財政と農業はどうなる

町長 地方交付税、農業施策への影響を注視

議員 新政権は、予算編成を進めているが、本町財政計画への影響をどう見ているのか。

町長 地方交付税の抜本見直しや下水道の地方移管、基地周辺民生安定事業や公共施設整備交付金への影響を注視している。

議員 農業政策は農家戸別所得補償方式に転換されるが、生産計画目標や推進方策はいつ示せるのか。また、地域振興作物の加算制度や集落営農・集団化、担い手加算制度も廃止の方向だが、大和町水田農業ビジョンはどうなるのか。

町長 戸別所得補償方式の詳細はまだ示されていないが、町では2月中旬まで全体説明会を開催し、県からの目標数量配分を示し、モデル事業や水田利活用自給力向上事業等も含めて町のビジョンの情報提供をする。助成単価は全国統一で進められているが、農家の高齢化や設備投資の面から集落営農や担い手の位置付けは今後も重要と考えている。

農集排、県補助金を繰上げ償還に

町長 繰上げ償還は考えていない

議員 農集排事業は国50、県15、町35%負担とした事業だ。県の財政難から県補助分が現在補助され維持管理費に充当している。将来の特別会計負担の有り方を考え、建設費中、県負担分まで町が借り入れた起債の繰上償還に充当すべきでないか。

町長 農集排事業中、県補助金は2億700万円となり、平成20～26年の7年間で交付される見込み。現在、特別会計の管理運営費として使用しており、繰上償還は考えていない。県補助がなくなる27年以降は約53

00万円の一一般会計繰入れが必要となる見込だ。
議員 農集排事業の汚水処理原価と使用料は、
町長 原価は、20年度m当たり553円で、使用料金は、m当たり115円である。



新政権で、本町の財政は大丈夫か



議員 之 浩 橋 鴉

学力テスト町民の反応は

教育長 来年度も結果を公表する



議員 上田早夫

議員 全国学力テストの結果が公表された。この結果公表での町民の反応はどうだったのか。来年以降も公表を続けることを期待するが、現在の考えは。
教育長 今年度の全国学力・学習状況調査の本町の結果を9月に公表した。町民の反応は、公表したことを肯定的に捉えている方々が多いようだ。町の行事等で町民の方々から、町内児童生徒の学力が県平均より下回っているので、がんばっていかなければならないという話しがあった。
今後も学力向上に向け、パワーアップ支援事業等を取り組み、結果公表は、今年度同様に公表する。

トヨタ進出、本町への定住化は

町長 住宅団地をPR

議員 セントラル自動車の進出で、数千人の人口の流入が見込まれるが、本町の定住促進アクションは弱いように見える。吉岡南や杜の丘の販売所とのタイアップは十分か。
町長 昨年、従業員の家族等を対象とした移転先地見学会に、町企業立地推進本部で定住化等のPRを行ってきた。吉岡南第二や杜の

丘団地には、従業員関係と思われる方の成約と仮申し込みが、合わせて25件ある。本町には50戸の単身寮の建設が進んでおり、来年1月に入居の予定だ。
今後もセントラル自動車の情報を収集し、吉岡南第二、杜の丘団地、大和インター関係者と連携を図りながら対応する。



操業が待ちどおしいセントラル自動車（大衡村）

除雪ヘルパーで手助け

町長 社会福祉協議会と協議

議員 毎年降る雪は、春には水となり生活や産業のため豊かな恵みとなっている。しかし、冬期間の生活に影響を持つ交通問題も国道、県道そして町道はそれぞれ機関で除雪されている。町道から外れた私道沿いに生活している人は除雪に大変苦労している。手におえない時は業者にお金を払い除雪をしている人もいる。国・県・町道沿いに住む人の格差は正のため業者に頼む時、除雪機購入時の一部助成や融雪剤の配布をしてはどうか。

町長 それぞれが所有する土地の形態は様々で、これまで通り自己所有地の管理は所有者にお願いしたい。
議員 社会的弱者である身体障がい者、独居老人、母子家庭等は大変難渋している。除雪ヘルパー制を導入し、手助けの考えは。
町長 高齢者や障がい者世帯を対象に社会福祉協議会で事業の一貫として取り組んでいる事例もあり協議をしたい。

熊に続きイノシシも

町長 わな免許取得者の増員を図る



あまりイタズラすると「ぼたん鍋」にするぞ！

議員 近年の温暖化、暖冬で数年前から七ツ森の山麓でイノシシが確認された。これまで被害は見当たらなかったが、本年は水田内で稲株を抜いたり、倒したり所々で被害が発生している。本町での被害状況は。
町長 5件の農作物（稲）の被害報告があった。

議員 本町での繁殖も始っており、今後被害拡大も懸念され防除には電気柵が効果あると聞く。早めの対策が必要と思われるが。
町長 現在町で貸し出ししている電気柵はツキノワグマ防除用であり効果は低い。休耕田の適正管理や野菜クズを畑に残さない様、農家

へ周知を図る。
議員 捕獲が難しく、わな猟、狩猟の捕獲が必要とされるが。
町長 イノシシは警戒心が強く捕獲が大変難しい。くりわなによる捕獲が必要のため、わな免許取得者の増員を図りたい。



議員 堀 籠 英 雄



伊藤 勝 議員

保育所に看護職の 独立配置を

町長 臨時職員で対応

議員 看護職の保育所配置が、全国的にみると20%台とあまり進んでいない。その多くは、保育士が看護職を兼務している状態である。さらに、独立配置が進んでいないのは人件費の問題と、保育所の意識の問題が影響している。

発達障害や疾患をかかえた子どもたちへの健康管理面からも、看護職の配置により、病後児保育等にも取り組めると思うが町長の考えは。

町長 保育所では、児童の健康管理や体調不良時の対応等に十分な配慮をしている。平成9年度から、大和町保育所ともみじヶ丘保育所に看護師（臨時職員）を配置している。投薬が必要な児童は、保護者から登所

時に体調を聞き取り必要な時間に投薬するなど、体調不良時の対応を行っている。今後も、児童の健康管理面で専門知識が必要不可欠なので、看護師の配置を継続していくが、病後児保育は施設状況から難しい。

町職員を地域サポートに

町長 住民のパイプ役として

議員 総合計画の中に「みんなを取り組む協働のまちづくり」とある。住民と行政が協働で地域活性化を図る施策だ。特定の職員を除く全職員を地区ごとに配置し、地域づくりを支援する「地域サポート制度」を取り入れてはどうか。

各種支援事業情報提供や補助申請などへの助言、地区活動を支援するものである。町長の考えは。

町長 職員と地域のかかわりは重要である。日頃から職員には地域の中に入り、

地域での役割やボランティア活動を行うよう指導している。職員は一地域にとどまらず、町内全域に目を向ける必要がある。今後も、地域住民とのパイプ役を果すよう努めていく。



看護師さんがいてくれて安心（大和町保育所）

生活保護者の自立支援

町長 自立に向け指導

議員 生活保護の目的は、被保護者の自立支援にあると言われている。生活保護制度上の自立とは、主に経済的自立を目指している。仕事をするなどとして、社会復帰し自活できれば、遅かれ早かれ生活保護からの脱却も夢ではない。また、社会的自立にも繋がる。生活保護制度の中で、適切な日常生活自立支援・社会生活自立支援などのあり方を支援し、就労意欲を育てるプログラムの策定をして、自立の助長を促進しては。

町長 本町では、現在、生活保護世帯が110世帯で、うち高齢者世帯55世帯、障害者世帯23世帯、母子・父子世帯5世帯、一般世帯が27世帯である。

平成16年度に生活保護制度が見直され、厚労省では各保健福祉事務所での自立支援プログラム導入の方針が示された。本町所管である仙台保健福祉事務所では、ケースワーカーが定期的に面談を行い、適切な日常生活や生活保護世帯の中で稼働能力がある方には、就労等自立に向けて指導を実施している。

ハローワークでは就労支援や職業訓練の受講斡旋等の事業もあり、就労支援に努めている。今年度の生活保護世帯の就労実績は、20代男性1人、40代男性1人だが、生活保護を受けている方は身体に何らかの疾患があったり、就職難と社会情勢が厳しいことから就労まで至っていないのが現状である。

今後とも、福祉事務所・ハローワーク等関係機関と連携を図り、さらなる自立に向けての助長促進に努めていく。



何回来てても仕事がないな～



議員 桜井辰太郎



藤 卷 博 史 議員

大丈夫? 新型インフルエンザ

町長 適切に情報を提供

議員 肺炎球菌ワクチンは、新型インフルエンザで、高齢者が重症化することを防止する効果がある。接種に助成と奨励を。

町長 肺炎球菌ワクチンの予防接種が効果的であるので、接種奨励策を今後対応する。

議員 子どもの感染や、保育所・幼稚園・学校の閉鎖等に対応するため、保護者の休暇取得をすみやかに進め、雇用不安を招かないよう町内全事業所に協力要請を。

町長 新型インフルエンザの対応は、国、県からの情報提供や指示、要請等を踏まえ、町の対策本部と連携して取り組んでいる。

新型インフルエンザワクチン接種は、一部助成によ

一般質問

る負担軽減措置、小学校低学年を対象とした集団接種など、様々な対策をしている。

事業主等に対する保護者の休暇取得の協力は、政府が休暇取得や短時間労働、在宅勤務等を認める配慮などを要請している。

議員 介護福祉施設での感染予防、感染拡大防止のための適切な情報提供と財政支援をしては。

町長 情報提供は、平成21年5月20日に「新型インフルエンザに対する社会福祉施設等の対応について（通知）」が県から出され、国県等からの情報がホームページを通じて把握できるようになっている。

財政支援は、町内で新型インフルエンザの休業等は出していないが、今後、国等の情報を収集する。



みんなも「うがい」「手洗い」やってね♥

成年後見制度の体制強化

町長 後見人の役割を広く伝える

議員 成年後見制度は判断能力の不十分な人たちの権利擁護を目的とし、制定から9年が経過した。しかし、制度の認知状況は「聞いたことがない」が72・4%と低く、どこに相談したらよいか、手続きが煩雑だ、申し立て費用など経済的な負担が大変だなど、改善すべき課題が山積している。

議員 町長の申立て実績は、町長 申立ては行ったことではない。

町長 本町住所地では、25名が利用している。

議員 町の現状と課題は、町長 制度の認知は低く、利用者も少ないなど課題があり、勉強不足の面もある。今後、後見人の役割や支援方法を積極的に周知する。

議員 担当部署は保健福祉課のどこか。

1回メモ
認知症や知的障害などにより、自分の財産を管理したりするのが難しい場合があります。このような方々を保護し、支援するのが成年後見制度です。



議員 高平聡雄

今後の借金の見込みは

町長 借金に頼らない予算編成をする

議員 全国的に地方金融機関からの借入れが年々厳しさを増し、財政当局は資金調達に苦勞していると聞く。本町の現状はどうか。

議員 地方公共団体金融機構が設立された。機構の出資金186億円は、全都道府県・市町村が出資だが、本町の出資額はいくらか。

議員 22年度一般会計の内、借り入れはどの程度と想定しているのか。また、その借り入れ先の用途は。

町長 21年度地方債計画では、20年度に比較し総額が増加しており、公的資金と民間等資金比率で公的資金が4・1ポイント増加して

町長 22年度予算の財源不足を補う借り入れ額は、最終見通しがたっていない。必要事業の見極めで借り入れ以外の財源を優先確保し、最終的な地方債額を定める。



私たちが担当します。相談してください。



議員 浅野正之

「大和町版」事業仕分けは

町長 しなくても分かります

議員 政府の行政刷新会議が「事業仕分け」を開始した。財政が逼迫する状況下、行政のムダを探す作業は、国・地方を問わず、大変重要な仕事である。このことを背景に、次の点を伺う。

◆ 新年度予算に対する国、県からの留意点は何か。

町長 平成22年度国予算編成は、行政刷新会議での整理協議を受け、現在財務省で査定作業中だ。この方法は、政権交代という中で行われており、詳細情報は国、県からも届いていない。

議員 第四次総合計画に基づくローリング・システムに計画変更はないか。

町長 現実実施計画の各種事業の大きな変更はないが、今後社会経済情勢の動向や、国の施策を見極めながら適

切に進行管理を行っていく。

議員 大和町版、事業仕分けの採用の考えはないのか。

町長 町民視点に立った評価実施は、判定の分かれる部分もあるが、町の場合は国等に比較して対象ボリュームも小さく、細部内容の把握ができ、その上での判断が可能と思っている。

1回メモ

ローリング・システムとは
(ローリング方式)

実施計画と基本計画のズレを埋めるために、施策・事業の見直しや修正を、転がすよう定期的に行っていく手法です。

学力向上の取り組みは

教育長 学校・家庭の協力で

議員 学校教育は、基本的な能力、自ら学ぶ意欲、態度を育成する上で重要な役割を持っている。このことから次の点を伺う。

◆ 町内小・中学校からの予算要求に対しての結果は。

教育長 学校予算の要求は、

町の予算編成にあわせ実施している。これらは、予算措置の中で学校側と協議をしながら行っている。

議員 備品の充足率と現状は。

教育長 充足率は把握していないが、備品は十分配備

され円滑な授業が進められている。

議員 学力向上を阻害する要因は何か。

教育長 子どもたちに必要な生きる力をつける、安心して生活できる地域社会を創ることが必要である。



先生、ここ教えて (ウィンタースクールで勉強)

研修レポート

議会運営委員会

【視察地】埼玉県杉戸町議会、東京都瑞穂町議会

【視察月日】11月4日～5日

【視察者】高平聡雄委員長、秋山富雄副委員長

大友勝衛委員、堀籠日出子委員

平渡高志委員

【視察目的】「議会運営全般」と「議会活性化への取り組み状況」を視察しました。

埼玉県杉戸町議会

議会情報の公開

町民へ、議会の情報を伝えるために、ホームページの充実を図るなどの取り組みを行っていた。また、議会へ傍聴に来た方々の意見を聞くために「御意見ポスト」を設置し、議会運営、議会活性化に反映する取り組みも行っていた。現在は、議会改革検討委員会を立ち上げ、検討を重ねているとのことであった。

【所感】「政務調査費を議会広報及びホームページで公表するなど、開かれた議会に向けて努力をしている」と強く感じた。

東京都瑞穂町議会

ケーブルTVからインターネット中継へ

各議案の審議内容等を直接住民に報告するため、議会報告会の開催を検討していた。3月と9月議会終了後に、2時間程度で6地区に分けて実施する予定とのこと。議会情報の発信として、民間のケーブルテレビで議会中継をしているが、加入している視聴者

は、町内の2割ぐらいと少なく、インターネット中継に切り替える準備を行っていた。

【所感】議会活性化委員会で、議会活動全般の課題を改善するために、積極的な取り組みをしていた。議会のインターネット中継や議会報告会を検討しており、大変参考となった。

【報告者 大友勝衛委員】



社会文教常任委員会

シルバー人材センターと公共施設の転用等を視察

【研修地】大阪府忠岡町、奈良県宇陀市

【視察月日】10月27日～29日

【視察者】堀籠日出子委員長、平渡高志副委員長、中川久男委員、桜井辰太郎委員、松川利充委員

【視察目的】忠岡町では「シルバー人材センターの運用」と「学生ボランティアによる小中学校のグループ支援活動」、宇陀市では「公共施設の転用」を視察しました。

大阪府忠岡町

年間契約金額1億円越

シルバー人材センターは、今年の9月現在では265名まで増え、平均年齢は70歳である。業種は圧倒的に軽作業が多く、高齢者の生きがいと健康づくり対策として成果がある。

【所感】本町でもシルバー人材センターを立ち上げるが、仕事確保の課題など、先進地を視察し大変参考となった。

大学生が小中学校を支援

学生ボランティアは、小中学校で様々な活動の支援を行う。ボランティアの目的は、効率的な学習指導を行うことと、地域の有能な人材を生かすことを目的としている。



【報告者 中川久男委員】

「所感」廃校となった小学校校舎の再生を地域一丸となって考え、管理運営も行うなど、地域の私たちの協力が特に大きいと感じた。

奈良県宇陀市

廃校の小学校を

文化・芸術施設に再生

少子化や人口の減少によって廃校になった校舎を、文化芸術活動体験施設として整備した。普通教室をアトリエに改築し、有料で貸出しをしているが空きがない状況。アトリエでは月2回の講座を開催し、地域内外から多くの人が訪れ好評だ。

【所感】廃校となった小学校校舎の再生を地域一丸となって考え、管理運営も行うなど、地域の私たちの協力が特に大きいと感じた。

【視察地】徳島県美馬市、上勝町

【視察月日】10月19日～21日

【視察者】大友勝衛委員長、浅野正之副委員長

大崎勝治委員、馬場久雄委員

堀籠英雄委員、藤巻博史委員

【視察目的】美馬市では「うだつの町を中心とする観光まちづくり」を、上勝町では「彩事業」と「複合住宅事業」「木質バイオマス事業」を視察しました。

徳島県美馬市

昔ながらの町並みを

観光の中心に

「うだつ」の町並みを残すために、市街地景観条例の制定や住民と行政が一体となり保存運動を行った結果、「重要伝統的建造物群保存地区」の選定を受けた。

【所感】景観はすばらしいが、住民は高齢者が多く、商店は空き店舗が多く、対策に苦慮していた。

上勝町

葉っぱビジネス

農家、町、JA等が一体となり、野山の花や枝葉を料理の「つまもの」

に商品化する「葉っぱビジネス」が誕生した。現在の販売額は約2億6000万円で、70・80歳代の高齢者が一家の稼ぎ頭となっている。

【所感】どこにでもある草木の葉が、町の重要な位置づけになっていることに驚いた。発想の転換が重要と思う。

廃校を複合住宅に

廃校になった校舎を改修して、1階は貸し事務所、2・3階は住宅にした。他の1校は養護老人ホームとしても利用されている。

【所感】廃校は学校以外には活用できないと思っていたが、補助金返還



うだつの街並み

なしで複合住宅等として利用していたことに感心した。

地域の資源を利活用

間伐材等の未利用木材を燃料に利用して、化石燃料の使用削減を図る。

また、森林業の活性化や雇用の創出も図ることで地域経済の向上を目指す。

【所感】本町にも山林開発で発生する根っこをチップ化している企業もあり、将来、地元の利用も考えるべきと感じた。

〔報告者 堀籠英雄委員〕

追跡取材

なじよになったの？あの提言は

議員が行う提言は、町政にどう反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から一部ピックアップし、その後の経過を追跡してみました。



自然にやさしい太陽光発電

ソーラーへの補助が実現しました

H20.12 → H21.4

質問

議員 自然エネルギーを利用した、住宅用太陽光発電システムに補助をしては。

答弁

町長 国や県、他の市町村の動向を見ながら検討する。

処理

住宅用太陽光発電システム設置に助成
1kwあたり、35,000円を助成（125,000円限度）
担当課は役場産業振興課

請願書 (2件)

【請願名】「協同労働の協同組合法」(仮称)

【提出者】日本労働者協同組合連合会
(ワーカーズコープ) センター事業団

東北事業本部 平山清一氏

【紹介議員】伊藤 勝議員、藤巻博史議員

秋山富雄議員、平渡高志議員

【主旨】社会の実情を踏まえ、

新しい労働のあり方や就労の創出、地域再生、少子高齢化に対応する有力な制度として、「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定の国への意見書提出を請願する。



【審議結果】委員会付託(賛成17 反対0)

産業建設常任委員会が審査します。

【請願名】保険でよい歯科医療の

実現を求める請願書

【提出者】宮城県保険医協会

理事長 北村龍男氏

【紹介議員】藤巻博史議員、平渡高志議員

【主旨】歯周病治療や義歯治療は保険で十分にできず、「保険の利く範囲の拡大を」という国民の要望に応えられない状況にある。歯科医療の保険適用範囲の拡大と、自己負担の軽減を目指す



【審議結果】委員会付託(賛成17 反対0)

社会文教常任委員会が審査します。

陳情書 (2件)

●改正賃金業法の早期完全施行等を求める陳情書

【提出者】仙台弁護士会 会長 我妻 崇氏

●中小企業予算の拡充を図り、最低賃金の大幅引上げを求める、国に対する意見書採択を求める陳情書

【提出者】2010年宮城県春闘共闘会議

代表幹事 齋藤重美氏

代表幹事 佐藤 明氏

代表幹事 鈴木 新氏

要請書 (2件)

●新農地制度の円滑な運営に向けた

農業委員会の体制整備に関する要請書

【提出者】大和町農業委員会 会長 佐藤公夫氏

宮城県農業会議 会長 中村 功氏

●戸別所得補償制度及び

水田農業政策に関する要請書

【提出者】あさひな農業協同組合

代表理事組合長 佐藤政悦氏

意見書

【意見書名】電源立地地域対策交付金制度の

交付期間延長等を求める意見書

【審議結果】原案可決(賛成17 反対0)

総務、財務、経済産業大臣に

大和町議会議長名で提出しました。

視察来庁

岩手県八幡平市議会 宮城県山元町議会



両議会が、本町の議会だよりの作成技術を学ぶため視察に来られ、意見交換をしながら技術の向上を図りました。「読まれ、親しまれる議会だよりのために、どこの議会も同じ思いで作成に取り組んでいました。

表彰 産業功労賞

大崎勝治氏



永年の功績が認められ、宮城県文化の日に県知事から表彰されました。



吉田小学校 6年
堀籠 京佑くん

大好き!! 大和町



小野小学校 6年
堀川 琳花さん

町への思いや将来の夢を書いていただきました。
ご紹介します。

2010年の抱負

私は、2010年にがんばりたいことが2つあります。

まずは、今年中学校に入学して勉強も難しくなるので、みんなに後れを取らないようにしっかりと復習したり、家で自主勉強を頑張ったりしたいと思えます。そして、部活動もまだ何をするのか決めていませんが、どんな部活に入っても一生懸命頑張りたいと思います。

今年も去年よりも、いろいろなことに挑戦していきたいと思えます。

みんなの大和町

僕たちの町では、9月に大和町小学校親善陸上大会があります。僕は、その記録会で新記録を目標に千米トール走の練習をがんばりました。

大会当日、新記録を出すことはできませんでしたが、新記録に近い記録が出せたのでよかったです。大和町総合運動公園内にある陸上競技場は、本格的な陸上競技場なので、とても走りやすくて、

本場のオリンピック選手になったような気持ちで走れました。

今年も健康で



1月14日にどんと祭があり、沢山の人がお参りして、無病息災をお祈りしました。今年こそは大和町にとって、よい年でありませうように。

編集後記 できればは？

臨時議会・12月定例会、各委員会の概要をお届けします。様々活動してる議会を身近に感じていただけたら幸いです。表紙や見出しを決めるのも、なかなか大変です。今回の表紙も成人式、初もうで、どんと祭、島田あめ祭りなどと悩みました。出来栄えはどうでしょうか？小野・吉田小学校を始め、取材にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

景気がよくならない中での新年。暮らしやすい町政へ、皆さんと一緒にがんばります。

広報委員 藤巻博史

議会を傍聴してみませんか？

面倒な手続きはありません。1人でも団体でも傍聴できますので、ぜひお越しください。

次回定例会は
3月 5日(金)から
3月19日(金)までの予定です。

大和町議会事務局
専022-345-7506
✉ gikai@town.taiwa.miyagi.jp

議会広報調査特別委員会

- 編集発行責任者 議長 大須賀 啓
- 編集委員 長 堀籠 英雄
- 委員 長 平渡 閣志
- 副委員 長 堀籠 日出子
- 委員 堀籠 日富雄
- 委員 秋山 勝
- 委員 伊藤 博史
- 委員 藤巻 博史